



平成28年度

木青連だより

[事業報告書]

長野県木材青壮年団体連合会



平成28年度

木青連だより

目次

ごあいさつ	長野県木青連 会長 土倉 宜也	1
平成28年度事業概要		2
平成28年度会議・事業経過報告		4
平成28年度組織図		5
平成28年度出向者		5
一年を振り返って	長野県木青連 直前会長 田中 俊章	6
	長野県木青連 副会長 田中 一興	6
	長野県木青連 副会長 山崎 泰雄	6
	長野県木青連 副会長 田村 紘一	7
	日本木青連 常任理事 北信越地区協議会会長 印出 晃	7
	日本木青連 60周年記念事業委員会 副委員長 島田 直政	7
	日本木青連 木育推進委員会 副委員長 中澤 勝成	8
	日本木青連 木材活用委員会 副委員長 田中 俊章	8
	日本木青連 木材活用委員会 委員 白石 直仁	8
第39回長野県児童・生徒木工工作コンクール実施報告		9
第39回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト		12
信州山の日イベント2016事業報告		14
信州環境フェア2016事業報告		15
信州バザール		16
会団事業報告	北信木青連	17
	東信木青連	18
	松本材青会	19
長野県木青連理事会議事録		21



長野県木材青壮年団体連合会
平成28年度会長 **土倉 宜也**

昨年、4月14日に発生した熊本地震より一年、今尚、仮設生活をされている多くの方がいらっしゃることに改めてお見舞い申し上げます。

平成28年度長野県木青連の会長を務めさせていただき、一年が過ぎました。長野県において全国植樹祭が開催され、また、当会が所属する北信越地区において日本木青連の全国福井大会が開催されたりと、大変貴重な体験をさせていただき、本当にあつという間の一年間でした。

本年度は、より多くの人と出会い、より多くの人に木青連を知って頂き、より多くの方に木育のPRを、そしてより多くの仲間が集える会にしたいとの思いから「数は力！踏み出せ木青連」のスローガンのもと一年間活動させていただきました。

我々長野県木青連のメイン事業である「長野県児童・生徒木工工作コンクール」では昨年を100点余り上回る5101点の作品のご応募があり、その中から、1点が全国コンクールにて入賞となりました。入賞はもちろん素晴らしいですが、5000名を超える子供たちが木に触れ、作品を作って頂いた事がなりよりうれしく感じております。また、県内の表彰式はここ数年、美術館等で行うことが多かったのですが、より多くの方にこのコンクールを知って頂き、受賞者と作品を見ていただこうと信州やまびこドームで他のイベントとの同時開催にさせていただきました。一般来場者も作品を見ていただき、大きな会場での受賞に緊張したお子さんもいらっしゃいましたが、多くの方に祝福された授賞式となりました。

また、本年度は木造建築物の担い手対策啓発事業の一環として県内多数の学校におきまして木工教室を開催させていただきました。私自身も多くの場

に足を運び、児童・生徒さんと一緒に楽しく木工とPRをさせていただきました。本事業に関しては、多くの方にご協力と、ご支援を頂き、本当にありがとうございます。特に会員の皆様においては、平日のお忙しい中、遠方の学校まで足を運び、運営して頂きまして、本当に感謝申し上げます。

現在、長野県木青連は北信・中信・東信の3会団、30数名と少数での運営となっております。ひとりでも多くの木材人と繋がりたいと思いから、昨年11月には現在、休会となっており、10数年交流のなかった南信地域の飯田会団のメンバーと情報交換会と親睦会をさせていただきました。世代交代のタイミングからすぐに県木青連への復会は難しいかとは思いますが、現状の把握、そして会員メンバー各会社の事業的な繋がりは期待できる場となりました。一人でも多くの仲間が集える木青連を目指し、今後も継続して交流と情報交換を続けて参りたいと思っております。

ある先輩の言葉に感動した覚えがあります。「本当の観光資源とは何か？其れはそこに誰が居るかだよ」木青連は、県内、そして日本全国と、そんな人との繋がりが出来る会です。

この一年間、伝統ある長野県木青連の会長の職、そして多くの事業を行うにあたりご支援くださった関係諸団体の皆様、会社の社員、家族、新たに出会った仲間、そして何より木青連のメンバーに感謝いたします。一年間、本当にありがとうございました。

平成28年度事業概要

長野県木材青壮年団体連合会

平成28年度会長 土倉 宜也

会長指針

近年、我々木材界が社会で求められている内容が変わってきております。ビルや公共施設の木質化、特に2020年東京オリンピック会場の多くに木材を使用される事が決まり、人々が建築物として木材に触れる機会が増える傾向にあります。また、電気産業において「バイオマス発電」といった新しい取り組みにも木材が利用され、山林の需要にもその用途に変化がみられます。これら、変化する社会のニーズに答える為にどのような活動や取り組みをしていくべきでしょうか？

昨年、5名の新会員が入会して木青連活動を盛り上げて頂きました。しかし、長野県全体の組織としては38名と少なく、少数精鋭にて会の運営を担っている状況にあります。他県に目を向けましても、会員の減少、運営費の徴収の難航等、活動が困難になりつつあるのが現状です。やはり新規会員が中々入って来ない事が一番の問題で、各会団も苦慮されている様です。

長野県木青連も今は良くともこれから先、他県の会団と同じ苦境に陥ることはないのでしょうか？今、我々、長野県木青連がやるべき事とは何なののでしょうか？

長野県木青連が長年活動し周知されているものの1つに「木工工作コンクール」があります。昨年度も生徒・児童から五千点を超える作品の応募があり、全国コンクールの審査会も長野の地で行われまし

た。この40年近くに渡る事業と、各地区で行われる木工教室等の木育活動、これを今までより更に大きな活動として広く社会に伝えてみましょう。木の素晴らしさ、温かさを小さな子供たちをはじめ、多くの方々に知って頂く事が出来れば、将来、より多くの木材需要に繋がっていくのではないのでしょうか。

それらの活動の拡大が「将来の木材需要に繋がる」のであれば、多くの仲間にして木材界にメリットがあります。協力して頂ける仲間も増えていくことと思います。

多くの活動も一企業単独では難しい事ですが、仲間が集う木青連なら出来るはずですが、その為には一人より二人、二人より三人とより多くの仲間が必要です。

本年度も多くの事業が行われる予定です。会員の皆様にはご負担をお掛けすることも多々あるかと思いますが、まず多くの方に我々木青連が楽しんで活動していることをアピールしてみましょう。そして、より多くの子供たちに木に触れていただき、木材界の発展、将来の木材需要を期待出来るような1年とすることを目指してみましょう。

諸先輩方が培ってこられた輝かしい実績ある木青連と木材界の発展の為、一步踏み出してみましょう。

スローガン

「数は力！ 踏み出せ 木青連」

基本方針

1. 今まで以上に小さい子供達に木に親しんで貰おう。
2. 今まで以上に木青連活動をアピールしよう。
3. 他団体との交流を深めよう。

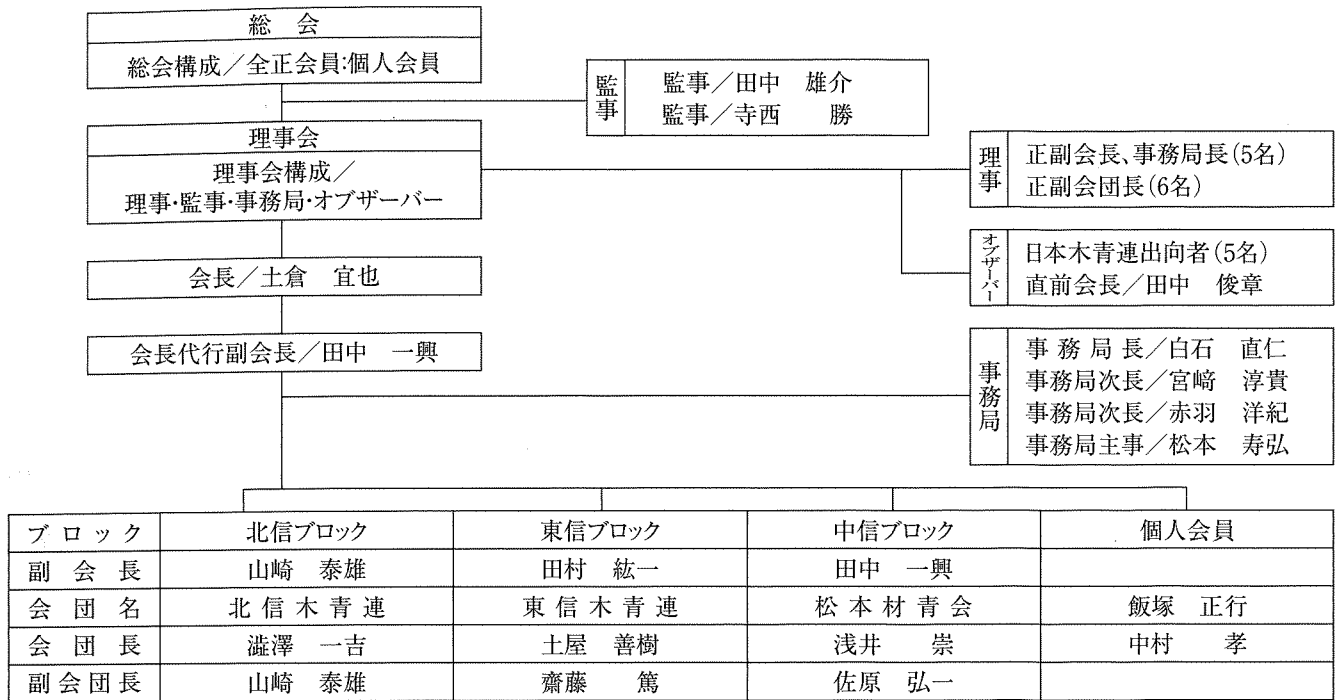
事業計画

- 【1】長野県木青連が基本方針に基づき、会員、単位会団、ブロック並びに関係諸団体と連携して行う会議
 - (1) 定時総会
 - (2) 理事会
 - (3) 県、中部森林管理局、関係団体との懇談会
- 【2】長野県木青連が主催し、各单位会団、個人会員に協力を依頼して行う事業
 - (1) 第57回県会員東信大会
 - (2) 第39回長野県児童・生徒木工工作コンクール
 - (3) P Rカレンダーの斡旋
 - (4) 木工教室
 - (5) 会員拡大
 - (6) 木青連だよりの発行
- 【3】各单位会団、ブロックが主催し長野県木青連が協力して行う事業
 - (1) 木材P R事業
- 【4】日本木青連が主催し、各单位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業
 - (1) 第61回全国会員愛媛大会
 - (2) 第41回全国児童・生徒木工工作コンクール
 - (3) 第20回日本木青連木材活用コンクール
 - (4) ウッディレターの配信
 - (5) 総会、理事会、委員会
- 【5】地区協議会が主催し、各单位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業
 - (1) 北信越地区協議会会員大会
 - (2) 北信越地区協議会
- 【6】関係諸団体等が主催し、長野県木青連、ブロック、単位会団が協力して行う事業
 - (1) 長野県県産材振興対策協議会が主催する事業
 - (2) 長野県木材協同組合連合会が主催する事業
 - (3) 長野県木材産業振興基金が主催する事業
 - (4) (公財)長野県建築住宅センターが主催する事業
 - (5) 県、中部森林管理局等が主催する事業

平成28年度 会議・事業経過報告

3月11日(金) 日本木青連 理事予定者会議	東 京：産業会館
3月24日(木) 引継ぎ会議	長 野：林業センター
4月2日(土) 理事予定者会議	長 野：林業センター
4月9日(土) 日本木青連 第1回理事会	東 京：産業会館
4月13日(水) 松本材青会 総会	松 本：ホテルモントーニュ
4月25日(日) 北信木青連 総会	長 野：ホテルメトロポリタン長野
5月9日(月) 第57回県会員北信大会	長 野：ホテル国際21
5月14日(土) 北信越協議会	福 井：AOSSA
5月21日(土) 長野県木青連 第1回理事会	長 野：林業センター
5月27日(金) 長野県木材産業政治連盟 総会 県木連 表彰式	長 野：ホテル信濃路 長 野：ホテル信濃路
6月5日(日) 全国植樹祭	長 野：エムウェーブ
6月8日(水) 長野県産材振興対策協議会 総会	長 野：メルパルク長野
6月10日(金) 日本木青連 第2回理事会	福 井：ホテルフジタ
6月11日(土) 日本木青連 全国会員福井大会	福 井：AOSSA
6月30日(木) 長野県産材振興基金 総会	長 野：ホテル信濃路
7月1日(金) 県木連 新理事長激励会	長 野：志もだ
7月16日(土) 日本木青連 第3回理事会	大 阪：大阪木材会館
7月23日(土) 長野県木青連 第2回理事会	松 本：ハリカ松本店2階
7月24日(日) 信州山の日フェスタ イン 原村	原 村：ハヶ岳自然文化園
7月30日(土) 信州環境フェア 木工教室	長 野：ビックハット
7月31日(日) 信州環境フェア 木工教室	長 野：ビックハット
8月9日(火) 文化学園 須坂古民家改修事業	須 坂：篠塚邸
8月10日(水) 文化学園 須坂古民家改修事業	須 坂：篠塚邸
8月18日(木) 県教育委員会との面談	長 野：長野県庁
8月27日(土) 木造担い手事業 木工教室	富士見町：富士見パノラマスキー場
8月28日(日) 木造担い手事業 木工教室	富士見町：富士見パノラマスキー場
8月29日(月) 木造担い手事業 木工教室	大滝村：大滝小学校
9月3日(土) 日本木青連 第4回理事会 木造担い手事業 木工教室	兵 庫： 長 野：戸隠自然文化園
9月23日(金) 木造担い手事業 木工教室	佐 久：中込中学校
10月4日(火) 木造担い手事業 木工教室	坂城町：
10月5日(水) 長野県児童生徒木工工作コンクール 審査会	松 本：合同庁舎
10月14日(金) 木造担い手事業 木工教室	富士見町：富士見中学校
10月29日(土) 日本木青連 第5回理事会 日本木青連 60周年記念式典	東 京：イースト21 東 京：イースト21
11月5日(土) 長野県児童生徒木工工作コンクール 表彰式	松 本：やまびこどーむ
11月19日(土) 北信越協議会	石 川：山王閣
12月2日(金) 越井会長との親睦会(県木青連忘年会)	長 野：橙や
12月3日(土) 長野県木青連 第3回理事会	長 野：林業センター
12月6日(火) 長野県議会 農政林務委員会との懇談会	長 野：長野県庁
1月14日(土) 日本木青連 第6回理事会	東 京：産業会館
1月21日(土) 北信越協議会 松本大会	松 本：ホテルブエナビスタ

平成28年度 組織図



平成28年度 出向者

《1》日本木材青壮年団体連合会

常任理事 北信越地区協議会会長 印出 晃 [松本材青会]
 理事 会 団 長 土倉 宜也 [北信木青連]
 60周年記念事業委員会 副委員長 島田 直政 [東信木青連]
 木育推進委員会 副委員長 中澤 勝成 [北信木青連]
 木材活用委員会 副委員長 田中 俊章 [東信木青連]
 木育推進委員会 委員 瀧沢 良夫 [北信木青連]
 木材活用委員会 委員 白石 直仁 [北信木青連]

《2》日本木材青壮年団体連合会 北信越地区協議会

会 長 印出 晃 [松本材青会]
 事務局 赤羽 洋紀 [松本材青会]
 県会 団 代 表 土倉 宜也 [北信木青連]
 県会 団 代 表 田中 一興 [松本材青会]
 県会 団 代 表 白石 直仁 [北信木青連]
 県会 団 代 表 赤羽 洋紀 [松本材青会]

《3》長野県木材産業振興基金

理事 土倉 宜也 [北信木青連]
 理事 田中 一興 [松本材青会]
 評議員 山崎 泰雄 [北信木青連]
 評議員 白石 直仁 [北信木青連]

《4》長野県産材振興対策協議会

理事 土倉 宜也 [北信木青連]
 幹事 白石 直仁 [北信木青連]

《5》長野県木材産業政治連盟

副会長 土倉 宜也 [北信木青連]
 委員 田中 一興 [松本材青会]

《6》(公財)長野県緑の基金

評議員 土倉 宜也 [北信木青連]

一年を振り返って



平成28年度 長野県木材青壮年団体連合会
直前会長

田中 俊章

平成28年度、土倉会長の下で直前会長として長野県木青連の活動に携わらせていただきました。本年度は昨年度から引き続きの活動としまして、全国会員福井大会への協力がありました。お陰様で皆様の協力をいただきまして、無事成功させることが出来ました。日本木青連の執行部・常任理事として要職に就任をいただきました会員の方々、またご協力をいただきました長野県木青連会員の皆様に改めて感謝とお礼を申し上げます。

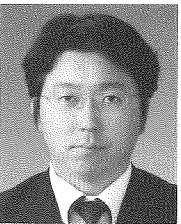
長野県木青連の活動としましては、土倉会長の会員同士の親睦を重視した1年間の活動であったと思います。長野県木青連に対

して、皆が思うことを聞き出して今後の活動に活かそうとする会長の熱意が伝わり、懇親会の席では熱く語らう場面が多々あったと思います。とても良い雰囲気のまま次年度に引き継いでいるようですので、今後の活動にどう現れてくるのか大変期待しております。

また、今年度は木育事業として例年よりも多くの木工教室を開催できたことが大きな成果だと思っております。「木工工作コンクール」もそうですが、子供達が小さい頃から木に触れる機会を増やすことで、木の良さを知ってもらい関心を持ってもらう事が非常に大切だと思います。今後も木青連活動の軸を担う事業ですので、より多くの子供達や県民の皆様に木の良さを知っていただく機会を増やしていければ良いと思います。

最後になりましたが、長野県木青連の活動に参加と協力を頂きました会員の皆様、1年間たいへんお疲れ様でした。次年度も引き続き、ご理解とご尽力を賜りますように宜しくお願い致します。

一年を振り返って



平成28年度 長野県木材青壮年団体連合会
副会長

田中 一興

本年度は、「数は力！踏み出せ木青連」をスローガンに土倉会長のもと、会長代行副会長を仰せつかり、1年間勤めさせていただきました。本来であれば、会長を補佐する立場でありながら、何年かぶりでの長野県木青連への出向ということもあり会長に教えてもらうことばかり、会長を支えどころか自分が支えられてなんとか一年勤められたと、まづもって土倉会長はじめ、役員・会員の皆さんに感謝申し上げます。

また、私の担当事業であるPRカレンダー事業におきましては、会員はじめ諸先輩、関係各所の皆様に多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度は、長野県では昭和39年以来52年ぶり2回目の第67回全国植樹祭が天皇皇后両陛下をお迎えし行われました。長野県内各

地において連合会・各会団で様々な催しに協力させていただきました。また、日本木青連の全国会員大会は北信越地区の福井での開催もありました。それら事業をはじめ、木造建築物の担い手対策啓発事業など様々な新しい事業もあり、例年の活動に加え、非常に活動が多い一年だったかと思っております。

また昨年、会長発案の関係諸団体との親睦事業で、会長・幹事・事務局長とともに、飯田木材業界の皆さんの会に参加し懇親できたことは新たな関係のきっかけを築くことができ、大変有意義な機会でした。今年以降もこのような試みを継続し、関係諸団体の方々とのつながりを深められればと考えております。

これだけに色々な事業をやりきることができたのは、土倉会長の統率力、そして会員皆さまのご尽力があったからだと感じております。誠にありがとうございました。

来年度は、大変未熟者ではありますが私が会長を務めさせていただきます。土倉会長はじめ、諸先輩方の功績には足元にも及びませんが、少しでもみなさんのお力になれるようできる限り努力する所存でおります。何卒、宜しくお願い申し上げます。

一年を振り返って



平成28年度 長野県木材青壮年団体連合会
副会長

山崎 泰雄

本年度は土倉会長のもと財務担当副会長を務めさせていただきました。

自分の身の丈を超えるような理事会運営という大役でしたが、なんとか1年間を無事に乗り切ることが出来ましたのは、土倉会長を中心に役員が一丸となり、それぞれの事業をこなせたこと、そして何よりも会員の皆様のご協力があったのと思っています。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

また、本年度は例年以上に木工教室等の事業を開催させて頂き、

会員の皆様には本当に御苦労いただきました。限られた人数と予算の中、年々各事業が会員の皆様の負担となって来ているのではないかと思います。本年度土倉会長は、「数は力、踏み出せ木青連」のスローガンを掲げ、例年以上に会員数の増大を意識した1年だったと思います。中々、直ぐに結果の出ることでないのですが、これからの10年・20年先の事を考え、魅力ある木青連になって行ければ、自然と会員数も増えて行くものだと思います。

国の木材活用に対する施策や事業、県産材の利用推進に関する取り組み等、木材業界には少しずつですが追い風が吹いているのではないかと思います。このような流れを利用して長野県木青連が全盛期の頃のような活気を取り戻せるよう、今こそ若い英知を結集して頑張っていきたいと思います。

1年間本当にありがとうございました。

一年を振り返って



平成28年度 長野県木材青壮年団体連合会
直前会長

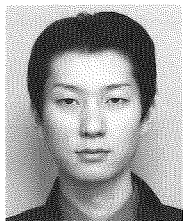
田村 紘一

土倉会長のもと、長野県木青連の活動の中で一大事業でもある「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を担当させて頂きました。県内小中学校より149校の参加があり、総作品数は昨年を上回る5101点もの応募を頂きました。どの作品も素晴らしく、審査におきましては審査員一同頭を悩ませました。作品に対する発想力と創造性には驚かされた方

も多かったのではないのでしょうか。また、全国審査会出展作品の中から「林野庁長官賞」をいただく事ができました。

長野県木青連に入り2年目の自分が木工工作コンクール担当副会長の大役を務まるのか不安でいっぱいでしたが、会長はじめ会員の皆様には審査、表彰式、集計、作品運搬等ご協力いただき、無事事業を終わることができました。また、松本事務局主事と共立プランニングの日野原さんにはいろいろな面でサポートをいただき、心より感謝申し上げます。一年間誠にありがとうございました。

一年を振り返って



平成28年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向常任理事 北信越協議会地区長

印出 晃

今年度は、北信越地区協議会地区長として、初めての常任理事として、日本木青連に出向させて頂きました。

常任理事会は、理事会の前に朝一から開催されるため、松本からの場合、前泊が必要となります。第一回の予定者会議から、最終の理事会まですべて出席することができました。

本年度は、越井会長の元、非常に活発な木青連活動が実施されました。「木の文化」をテーマに新設の異業種交流委員会では、木育、食育、茶育の3つを融合させ、新しい木育活動の場を創ることによって、新たな木材需要の創出を試みました。そのためには、木材業界だけでなく、和の文化の担い手である異業種との交流を重ねて、同じ目線で、新しいアイデアを育みながら進めてきました。学生コンペによる茶室の設計と、実際に保育園に茶室を建設するところまで実施しました。また、「木の防災」をテーマに、新

設の防災対策委員会では、有事の際の木材の利用方法を検討しました。木造仮設施設の資材を平時は、公園の木製フェンスやウッドデッキなど公園の施設として利用して頂きながら、有事には「トランスフォーム」して木造仮設小屋に短時間で変化して、被災された方の一時避難場所として活用頂くという、ウッドトランスフォームを設計、作製し、熊本地震の際には、実際に現地で活用していただきました。

今後は、各地区の木青連が全国に広めることにより、木造仮設施設の備蓄は広がり、結果として木材需要の拡大にもつながります。

大きなテーマでしたが、単年度で良くここまで事ができたものだと、改めて木青連のメンバーの熱意とパワーを感じました。今回、常任理事として出向させて頂いたことにより、全国に多くの仲間ができました。これは、一生の財産となると思います。日本木青連には、年齢や企業規模に関わらず、多くの理事が出向してきます。まだ、日本木青連に出向されたことのないメンバーは、是非出向してみてください。必ず得るものがあるはずです。

最後になりましたが、皆さんに支えて頂いたおかげで、今年一年、北信越協議会地区長を無事務めることができました。有難うございました。

一年を振り返って



平成28年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向 60周年記念事業委員会 副委員長

島田 直政

平成28年度は、日本木青連出向として2つの事業に参加しました。

一つは60周年記念事業委員会への参加です。

こちらの委員会へは、委員会参加こそ少なかったのですが、10月29日に行われた記念式典は盛大に開催することができ、日本木青連のひとつの礎になったかと思えます。

長野県木青連も特別賞を頂きました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

二つ目は、本年度も林野庁助成による「木づかい協力者による木材利用の促進事業」に、日本木青連の出向として、JBN、日本林

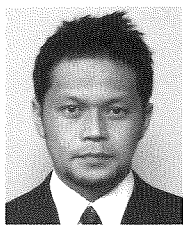
業経営者協会(青年部)、国産材製材協会の3者と共に取り組みました。本事業では、川上の林業生産事業体、川中の製材業、川下の工務店などが連携して、木造軸組住宅への国産材利用促進を図っていくための方策を協議・検討を行うことにしています。

28年度は、横架材への国産材利用促進やムク国産材の利用拡大を目的とした調査、検討を行って参りました。継続事業になると思われますので来年度も引き続き木材利用促進のため、

Think globally.act locally

の精神で木材PR活動に励みます。

一年を振り返って



平成28年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向 木育推進委員会副委員長

中澤 勝成

初めに平成28年6月10・11日に開催されました全国会員福井大会に於いて、第40回木工工作コンクール表彰式を無事終えることが出来ました。

昨年度1年間委員長として全国に出向させて頂き、この表彰式をもってようやく役目を終える事ができ胸をなで下ろす思い出っばいです。ご協力頂きました会員の皆様、又委員会を支えてくれたメンバーには心から感謝申し上げます。

本年度も引き続き副委員長として出向をさせて頂いたわけですが、燃え尽き症候群の様に余りにも気を抜きすぎてしまいまして、委員会への参加も少なく様々な情報を持つてくる事が出来なかった事を只々猛省しております。

一年を振り返って



平成28年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向 木材活用委員会 副委員長

田中 俊章

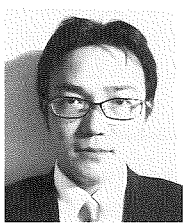
平成28年度は、日本木材青壮年団体連合会に木材活用委員会の副委員長として出向させて頂きました。越井会長のスローガン「TEAM日本木青連」をもとに全国の同じ委員会の仲間と活動を通して親睦を深めながらの1年間となりました。

今回で20回目の開催となった「木材活用コンクール」ですが、私はその中でも例年最も出展数の多い第2部門を担当しました。木材

を利用しているだけでなく、使い方や見せ方の工夫がされている作品が多く、大変勉強させて頂きました。反省点としては、地元の北信越地区および長野県からの出展が少なかった点です。今後は出展数が増えるような活動も積極的に行っていく必要があると思いました。

木材活用コンクールは、次年度全国大会での表彰式まで活動がありますので、引き続き協力していきます。今回の表彰式は、例年クローズで行っていた受賞作品の発表会を多くの会員にも公開できる様なかたちになる予定です。ご興味のある会員は是非参加下さい。

一年を振り返って



平成28年度 長野県木材青壮年団体連合会
日本木青連出向 木材活用委員会 委員

白石 直仁

本年度は田中直前会長と共に木材活用員(以下「木活」)を務めさせて頂きました。「木材活用コンクール」の募集や設計士の方々と情報交換会の企画等が主な活動でした。しかし、その活動について、会員の皆様に分かり易く説明、報告が出来なかった一年だったと反省しております。

木育推進委員を務めさせて頂いた昨年度は、例えば「木工工作コンクール」の様な県内でのイベントがあったので活動説明などは要らなかったのですが、木活においては県内でのイベント等はないので、木活の活動目標にある「新しい文化をコンセプトの中心に置いた新たなCOOL WOOD JAPANの作成」を長野県会団の皆様と共に企画することが出来ませんでした。その点、出向者としての責務を果たせませんでした。

しかし、分りにくく共有しにくい(と言われることの多い)木活の活動は実はこれからの木材業界において、とても重要な役割を担っていると思います。

今年度、第20回を迎える「木材活用コンクール」は木材を使った建築物のすばらしさを多方面に発信し続けて、その活動の成果が現在日本中で官民間問わず様々な建築物に木材を使いだした好要因になっていると思いますし、設計士を集めた情報交換会では、全国の木々のそれぞれの良さを伝え合うことで近年様々な所で色々な種類の木々を使おうという風潮が出来つつあります。また「県産材」を活用することで補助金を受けられる様になってきたのも木活の活動の成果の一つではないでしょうか。

まだまだ我々木材業界全体が、木活のお陰で潤う様になったとは世間で聞くことは出来ない状況ではあります。しかし、この活動を続け、木の良さをたくさんの人達に伝えていけば、近い将来木材業界の中でそういった話が聞けるようになるのではないかと考えています。

全国大会まで私の木活委員としての仕事が残されておりますので、その間、次年度以降木活の委員となる会員の方々が木活の活動のする時「自分も前任の委員と同じ様に、木材業界の発展に貢献しているのだ」と実感を持てる様に足跡を残せたならと思います。

北信越地区から出向させて頂き、応援して下さいました。皆様一年間ありがとうございました。

第39回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にできる心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主 催】 長野県木材青壮年団体連合会

【共 催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会

【後 援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、a b n 長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対 象 者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

- 【応募基準】**
- (1) テーマ／自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)
 - (2) 大きさ／タテ・ヨコ・高さ それぞれ75cm以内とする。
 - (3) 締切り／平成28年9月9日(金)
 - (4) 送り先／最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】

年月日	場 所	内 容
平成28年 6月中旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付各関係機関へ依頼書送付
7月～8月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中)各材料の提供配布は地元会員が手配
9月9日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
9月10日～30日	県下全域	各地区審査会を実施
10月5日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
10月17日～21日	松本市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示
11月5日	松本市	松本市「やまびこドーム」信州パザールイベント内にて表彰式
11月14日～18日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1Fロビーにて展示
平成29年 2月26日(予定)	岡山市	全国児童生徒木工工作コンクール審査会
6月17日(予定)	大阪市	全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

【審 査】 <基準>

各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。
また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行った。

- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
- ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
- ・機能、デザインが優秀であること。
- ・工作技術が優秀であること。

【審査会】 平成28年10月5日(水) 松本合同庁舎(502会議室)

【審査委員】 審査委員長 長野県総合教育センター
 専門主事 宮原 啓一 様
 審査委員 長野県林務部 信州の木活用課
 県産材利用推進室
 主任 日詰 究 様
 長野県中部森林管理局 中信森林管理署
 総括地域林政調整官 岩塚 伸人 様
 (公財)長野県緑の基金
 書記 笹原 まゆみ 様
 長野県産材振興対策協議会
 理事 宮崎 広雄 様
 長野県木材協同組合連合会
 理事長 宮崎 正毅 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 会長 土倉 宜也 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 代行副会長 田中 一興 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 副会長 山崎 泰雄 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 副会長 田村 紘一 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 事務局長 白石 直仁 様
 計11名

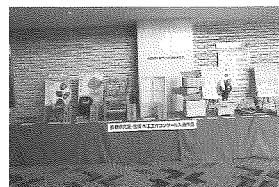
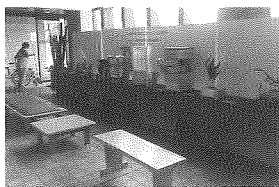


外部審査委員(左から)
 長野県総合教育センター 宮原専門主事 様
 長野県林務部 信州の木活用課
 県産材利用推進室 日詰主任 様
 長野県中部森林管理局 中信森林管理署
 岩塚総括地域林政調整官 様
 (公財)長野県緑の基金 岩塚書記 様
 長野県木材協同組合連合会 宮崎理事長 様
 長野県産材振興対策協議会 宮崎理事 様

【審査風景】 平成28年10月5日(水) 松本合同庁舎(502会議室)



【展示風景】 平成28年10月17日(月)～21日(金) 松本合同庁舎1階ロビー
 平成28年11月14日(月)～18日(金) 長野県庁1階ロビー



【表彰式】 平成28年11月5日(土) 松本市「やまびこドーム」信州バザールイベント内にて



第39回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作品名	氏名	学校名	学年
山の奥の龍神たち	向山 恭平	茅野市立宮川小学校	4年
鳳凰	小林 礼乃	南木曾町立南木曾小学校	6年
本に見える物入れ ※1	北島 瑞季	原村立原中学校	3年

※1：林野庁長官賞

2. 長野県教育委員会賞

作品名	氏名	学校名	学年
屏風	清水 陸哉	原村立原中学校	1年

3. 林野庁中部森林管理局 局長賞

作品名	氏名	学校名	学年
流木で作ったいす	矢島 峻也	下諏訪町立下諏訪北小学校	6年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
えものを狙う ふくろう	小平美優瑠	茅野市立豊平小学校	6年

5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
いざっ 出陣!	田口 雅也	上田市立清明小学校	6年

6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
えものをさがす ティラノザウルス	西澤 慶	佐久市立野沢小学校	3年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
クワガタ	栗屋 侑生	木祖村立木祖小学校	2年

8. 優秀賞

作品名	氏名	学校名	学年
松代の森の仲間～鹿と熊とリス達～	池田 悠海	長野市立西条小学校	4年
自由ココロ迷路	神田 悠佑	千曲市立埴生小学校	5年
わたしのユメタマゴ	中村ゆずは	千曲市立東小学校	6年
観覧車の貯金箱	武村 勇飛	山ノ内町立北小学校	6年
トンビ	齋藤 友仁	御代田町立御代田南小学校	4年
森のケーキ	丸山 彩希	諏訪市立中洲小学校	3年
スゴイ イス	橋本 虎汰	天龍村立天龍中学校	1年
ほくの町 福島まつりのみこし	田上 凜	木曾町立福島小学校	3年
ききゅうにのってどこまでも	稲葉寿々子	南木曾町立南木曾小学校	2年
トイレトペーパーで回る水車	楯 花奏	南木曾町立南木曾小学校	6年

第39回長野県児童・生徒木工工作コンクール内訳

総参加人数		5,095名
参加 学校 数	小学校	147校
	中学校	2校
	盲・ろう・養護学校	0校
	合計	149校

審査会出品数		101点
入選（左記の1～7）		9点
優秀賞		10点
佳作		458点
努力賞		4,624点
総作品数		5,101点

最優秀賞(長野県知事賞)

山の奥の龍神たち

茅野市立宮川小学校4年 向山 恭平



山の奥にいくと、こんな龍たちがいると思って、想ぞうして作りました。

楽しかったところは、5匹の龍をつけるところです。一番メインの龍は、目立つように、一番上につけました。木で作られた4匹の龍は、静岡で、たまたま見つけた流木です。一番上の龍は、流木のせんいがついていたので、龍神のおそろしさを表せると思いました。残りの龍たちは、それぞれちがう神の力を持っている龍たちです。メインの龍の神の力は、世界の神の力です。

大変だったところは、まつぼっくりを、1枚1枚メインの龍の体にはりつける作業です。細かい作業で、とても時間がかかり、むずかしかったです。

山と池で、だれも近よれない、深い山の奥のふんいきを出しました。

はく力のある作品ができて、よかったです。

最優秀賞(長野県知事賞)

鳳凰

南木曾町立南木曾小学校6年 小林 礼乃



どうして夏休みの木工工作で鳳凰を作ろうと思ったかという、去年の十二月に平等院鳳凰堂に行って鳳凰堂に興味をもったからです。鳳凰堂を作りたかったけれど鳳凰堂は大きすぎて、七十五センチメートルに入るサイズまで縮小すると一本一本の木の太さが細すぎて作れないので鳳凰を作ることに決めました。

鳳凰を作る過程で、鳳凰は進化の最後です。最初は新幹線とラッコの形です。その次にエミュウになりました。エミュウは体にコケをはってモフモフしていたからモフモフ作品とも言われていました。その次に尾長鳥になりました。そして最後にやっと鳳凰になりました。

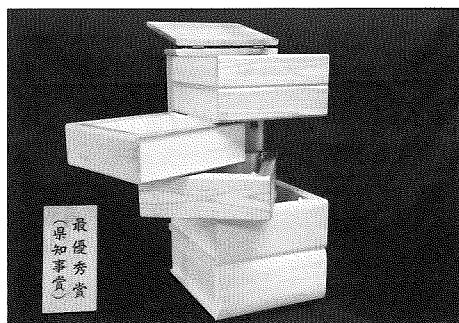
大変だった所はうろこの松ぼっくりを付けることでした。一個一個ていねいに付けるのがだんだんあきてきてしまうので、あきないようにやらなければならなかったからです。

作り終わったらやっと完成したという達成感がありました。せいっぱいできてよかったです。

最優秀賞(長野県知事賞)・林野庁長官賞

本に見える物入れ

原村立原中学校3年 北島 瑞季



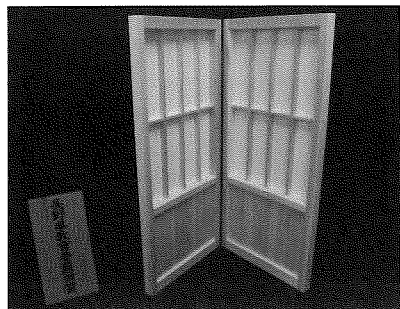
今年、私は何を作ろうか迷いました。今まで造形ではなく、使える物を作ってきたので今年も使えるものを作ろうと思いました。

家族とも話し合い、物入れを作ることにしました。形は何かおもしろい形にたく、考えていたら、本が積んであるのが目に入り、おもしろいと思えば本に見えるようにしようと思いました。

ほとんどの作業は切って、貼って、とめるというものでしたが、今まで使ったことのない大きな機械を使い、少し回転するようにするために、蝶番を付ける時には難しく、大人の人に手伝ってもらいながら完成させることができました。一番上のふたは模様をつけたかったので柿しぶでつけました。

今年で最後だったので賞がとれて良かったです。

長野県教育委員会賞



屏風

原村立原中学校4年 清水 陸哉

ぼくがこの作品を作った理由は、父親に相談したときに父親が木工業をやっているのが自分はどういう仕事をしているのかを伝えたいと言っていたので一番作ることが多い屏風にしました。

この作品を作るなかで難しかった所は、障子をはる所です。理由は少しでもずれてはいけなからです。穴をあける機械で穴をあける所も難しかったです。障子のときと同じよう

にしんちょうにやらなければいけなからです。特にノニで木の穴をきれいにするのが難しかったです。他の所にきずをつけてはいけなからです。難しかったです。

この作品を完成させてみて、思ったより上手くできてよかったです。父親にも難しい所は手伝ってもらっていっしょに協力して作ることができてよかったです。また来年も作れるようにしたいです。



流木で作ったいす

下諏訪町立下諏訪北小学校6年 矢島 峻也

ぼくは、夏休みに毎年家族で山や川にキャンプ、海に海水浴に行きます。その時にお父さんに流木の存在を教えてもらい、木作品を流木で作ることを考え始めました。

そして、いすを作ろうと決めました。

実際に座れて使えるいすがいいと思いました。ふつうの木材と比べて、一つ一つ長さも形もちがいが、組み立ての時はとてもむずかしかったです。

お父さんから道具の使い方や木の組み合わせ方などいろいろなアドバイスをもらいながら工夫して作りました。一番気に入っているのは、せもたれに自分の名前の頭文字の「Y」をアルファベットで入れたところ。六年間、木作品を作ってきて最後にこのようなすばらしい賞をもらうことができるとてもうれしく思います。たくさん作品の中から選んでくださりありがとうございます。

公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞



えものを狙う ふくろう

茅野市立豊平小学校6年 小平 美優瑠

私の家は、自然豊かな森の中にあります。家は木々に囲まれ庭には小枝がたくさん落ちています。これまでも、それらの木々を使って木工作を作ってきました。

今年は何を作ろうかと考えたときに、小枝で体の毛や羽を表現できる動物にしたいと思いました。中でもふくろうが表現しやすいと思いつきました。そして、ふくろうの羽のしなやかさが出るよう、できるだけ細い白かばの枝を集めました。ある程度の大きさを出したいので、中に発泡スチロールを入れることにしました。そこで、小刀で削ってなんとなく形にしました。そこからひたすら小枝をちょうどよい長さに切って、ホットボンドを少しつけてはというくりかえしでした。家ののき

先にイスを出してすわり、時々小枝を拾い集めながら、毎日少しずつはりつけました。時には母がイスを出してきて横にすわり、おしゃべりをしながらはりました。けっこう時間がかかりました。

最後に目をつくるために、祖父から電動ノコを借りました。祖母からは、生け花に使うために庭から切った太い白かばの枝をもらいました。うまくできた二枚を使い、ふくろうが首を集める部分を作りました。何かに使えるかもしれないとっておいた芽のような物で目玉を表現しました。

木から見下ろすようにしたかったけれど、転びそうだから、板につけてみました。目が狩りをしているみたいにするどく見えたので、小動物をそえてみました。完成しました。しかし私は思いました。目のところにほうがあるのはみみずくではないかと…。それでも部屋にかざってみると命が吹きこまれたような存在感を感じ、大切に思えました。「できたあ!!」という達成感を感じました。

長野県産材振興対策協議会 会長賞



いざっ 出陣!

上田市立清明小学校6年 田口 雅也

ぼくが、真田幸村のかぶとを作ろうと思ったきっかけは、今年NHK大河ドラマ「真田丸」の放映で、地元上田が幸村のことで盛り上がっていると感じたからです。

幸村のかぶとは、大きな鹿の角が特徴です。けれど、重くするとバランスがとれなくなってしまうので、竹ひごを全体の骨組に使いました。竹ひごを曲げる時に、火であぶって曲げる加減が難しかったです。仕上げ

の材料には、お父さんに削ってもらった「かんなくず」で、角はひば、つばはけやき、首にかかるところはひのき、頭は杉と黒たんを使い、自然の木の色を使い分けてかぶとの色を表現しました。全体のバランスを考え、力強さも出せたと思います。

このかぶとを作ったことで、木には色々な種類があり色もそれぞれちがいがいることを知りました。

ぼくも真田幸村のような日本一の兵になりたいです。

長野県木材協同組合連合会 理事長賞



えものをさがすティラノザウルス

佐久市立野沢小学校3年 西澤 慶

ぼくがティラノザウルスを作ったわけは、きょうりゅうがすきで、とくにティラノザウルスが大きくて、強そうで、かっこいいなあと思ったので、作りました。

白かばは、お母さんから「県の木」と聞いていたし、白くてきれいなので、使うことに決めました。白かばは、お父さんと高原に行き行って用意しました。

むずかしかったところは、頭が大きくて重いので、どう体にくっつける時に、バランスをとるなが

ら長いぎを打つのがとてもむずかしかったです。えものをさがしている感じを出すために、顔のむきもしんちように決めて打ちました。それから、小さいキバを一つ一つ作ってボンドでつけるところが、細かくて指がいたくなって大へんでした。

くふうしたところは、いろいろな図かんを見て、ティラノザウルスが動いて見えるように、首や手足のいちや、角度を決めたところです。足元には、白かばのかわのうらがわや、まつぼっくり、どんぐり、かる石を使って、グレーガンでちょっとずつ重ねてとめていきました。

身の回りにある木で、かっこいいティラノザウルスを作ることができたので、ずっと大せつにしたいです。

長野県木材青壮年団体連合会 会長賞



クワガタ

木祖村立木祖小学校2年 栗屋 侑生

ぼくは、こん虫が大すきです。なので、木こうこうさくで一ぱん大きなクワガタをつくろうと思いました。

まずはじめに、せっけい図を考えました。そのせっけい図をもとに、うら山で、ツノと足になるくりの木のをえだを、さがしました。せっけい図と同じ大きさや、形のをえだをさがすのは、大へんでした。つぎに、まきストーブのためにわってあった、さく

ら、ナラ、しらかば、などの木の中から、どう体の木として、さくらをえらびました。えらんだりゅうは、クワガタの色にしていたからです。ツノはうごくようにしたかったので、ボンドではなく、ネジでとめました。足は、あなをあけてボンドをつけて、さしてこていしました。六本の足でバランスよく立たせるのが大へんでした。

木こうこうさくで、大きなクワガタがかっこよくできて、うれしかったです。

信州山の日イベント2016[木工教室] 事業報告

事業報告書

【事業名称】 信州山の日イベント2016 木工教室

【実施日時】 平成28年7月24日(日) 10:00~16:00

【実施場所】 原村 ハケ岳自然文化園

【対象者】 一般(信州山の日イベント 来場者)

【担当】 山崎 泰雄

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に信州山の日PRや木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

【事業内容】 長野県林務部が主催する「信州山の日イベント2016」で木工教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット) 100セット

《1回毎の講座内容》

イス作り開始(50分) ※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

《準備品》

イスキット100セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/テント(3間×4間)1張/

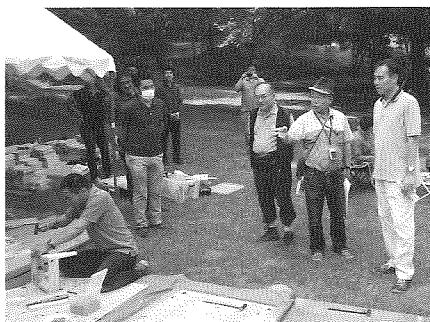
釘、紙やすり/コンパネ 10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

【スケジュール】 7月24日 8:00~ 集合・材料搬入
10:00 オープン
11:00~16:00 木工教室
16:00~ 片づけ、搬出

《木工教室開催時間》

1回目 11:00~11:50 [20組]
2回目 12:00~12:50 [20組]
3回目 13:00~13:50 [20組]
4回目 14:00~14:50 [20組]
5回目 15:00~15:50 [20組]

【当日風景】



信州環境フェア2016[木工教室] 事業報告

事業報告書

- 【事業名称】 信州環境フェア2016 木工教室
- 【実施日時】 平成28年7月30日(土)～31日(日) 10:00～17:00 ※最終日16:00まで
- 【実施場所】 長野市 ビッグハット(若里多目的スポーツアリーナ)
- 【対象者】 一般(信州環境フェア 来場者)
- 【担当】 山崎 泰雄
- 【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会
- 【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使われ方などを知っていただく。
- 【事業内容】 信州環境フェア実行委員会、長野県地球温暖化防止活動推進センターが主催する

「信州環境フェア2016」で木工教室・木育教室を開催。
ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 110セット(予備10セット)

＜1回毎の講座内容＞

- ①森林の話し(2分) ②イスの作り方(3分)木青連
- ③イス作り開始(45分) ※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

＜準備品＞

イスキット110セット／道具(カナヅチ、釘抜き等)／釘、紙やすり／コンパネ 10枚／
ブルーシート／掃除道具／
受付簿、整理券

- 【スケジュール】 7月29日 16:00～17:00 材料搬入
- 7月30日 10:00～17:00 (9:30集合)
- 7月31日 10:00～16:00 (9:30集合)
- 16:00～ 片づけ、搬出

＜木工教室開催時間＞

- 1回目 10:30～11:30 [10組]
- 2回目 11:30～12:30 [10組]
- 3回目 13:30～13:30 [10組]
- 4回目 14:30～14:30 [10組]
- 5回目 15:30～15:30 [10組]

※最終日5回目は無し

【当日風景】



信州バザール2016[木工教室]事業報告

事業報告書

- 【事業名称】 信州バザール2016 木工教室
【実施日時】 平成28年11月5日(土)～6日(日) 10:00～16:00
【実施場所】 松本市 やまびこドーム
【対象者】 一般(信州バザール 来場者)
【担当】 山崎 泰雄
【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会
【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。
また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使い方などを知っていただく。
【事業内容】 信州バザール実行委員会が主催する「信州バザール2016」で木工教室・木育教室を開催。
ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 110セット(予備10セット)
・1回の開催時間は約50分 ※木青連は、参加者のイスづくりをサポート
・広さ:10m×10m
・同場所にて、木工工作コンクール優秀作品の展示も行った。

〈準備品〉

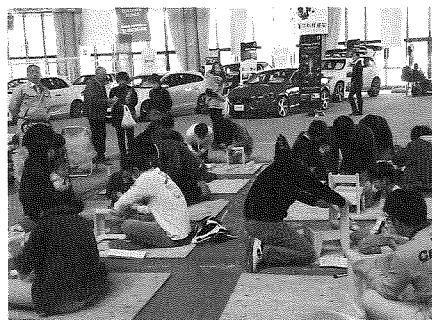
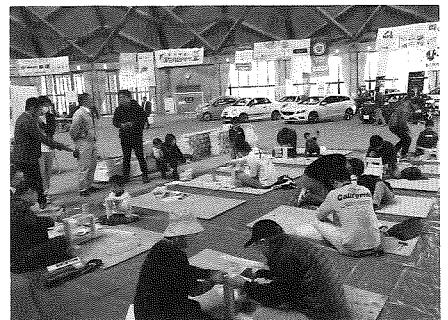
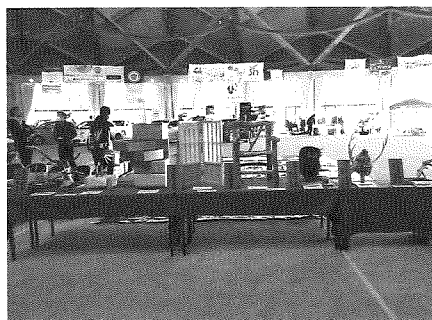
イスキット110セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ 10枚/
ブルーシート/掃除道具/整理券

- 【スケジュール】 1月4日 15:00～17:00 材料搬入
11月5日 10:00～16:00 (9:30集合)
11月6日 10:00～16:00 (9:30集合)
16:00～ 片づけ、搬出

〈木工教室開催時間〉

- 1回目 10:00～10:50 [10組]
2回目 11:00～11:50 [10組]
3回目 12:30～13:20 [10組]
4回目 13:30～14:20 [10組]
5回目 14:30～15:20 [10組]

【当日風景】



平成28年度事業実施報告書



北信木青連 会長
澁澤 一吉

今年度の全国大会は、全国木工コンクール表彰のサポートという事と、同じ協議会の福井をサポートするという2点での参加となった。特に木工コンクールに関しては、昨年2月に長野で審査会をしたこともあり、開封や梱包といった作業だけだが、何故か各作品に愛着も湧きいい経験が出来たと思う。

木工コンクールに関しては、通常行っている木工教室の延長だと思っているので、木工教室で木工に触れた子が、作品を作ってくれたなら…と思っているが、木工作品の応募が学校によって有ったり無かったりするの、なかなか難しいものだなと実感しています。

ただ、年末に越井会長との懇親会があり、そこで伺った大阪での活動も木育という点は同じだが、さらにス

ケールが大きく面白味を感じた。が中々同じことは出来なさそうなので、できる範囲でやれることをして行くのだと再確認しました。

今期で二期四年と北信会団長を務めました、これからは山崎君に任せ、木工コンクールを見てゆきたいと思っています。やはり木青連をやってきて、木工教室と木工コンクールは欠かせない事業であります。実際我々の仕事上、木は様々に姿を変え生活に入り込んでいますが、一般の人達にどれだけ知られているのかと疑問に思うこともあります。ただ作るだけでなく、そんな知識も少しは広められれば、木材や住宅やそれに携わる仕事に興味を持ってもらえるのではないとも考えます。そんな辺りも考えてゆきたいと思います。

北信木青連 PR事業 事業報告

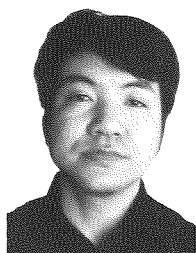
- 【事業名】いいやま花フェスタ木工教室
- 【日時】平成28年10月2日(日) 10:00~13:00
- 【場所】飯山市雁木通り
- 【参加人数】30組
- 【内容】ミニ椅子作り(椅子キット)



- 【事業名】城東小学校 親子木工教室
- 【日時】平成28年11月5日(土) 10:00~12:00
- 【場所】城東小学校(長野市三輪)
- 【参加人数】12組
- 【内容】ミニ椅子作り(椅子キット)



平成28年度事業実施報告書



東信木青連 会团长
土屋 善樹

毎年恒例の佐久バルーンフェスティバルへの木工教室は今年は2日間の出展でした。初日は好天に恵まれ250セット近くを売り上げることができましたが、2日目は強風に見舞われバルーンが飛ばない事態となり約90セットに終わりました。目標の300セットには届いたのですが、イベント事業は天候に左右されやすく客足が読みづらいという事を改めて痛感いたしました。

上小支部では6月に全国植樹祭でミニチュアハウスの棟上げを行いました。準備が大変でしたが伝統ある行事に参加できたことを光榮に存じます。

また山の日イベントでは阿部知事にご来場いただき木青連活動をPRする機会を得ることができました。今年は長野県木青連の事業といたしまして4回木工教室を開催した

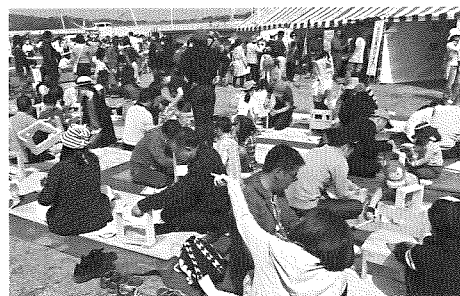
わけでございますがいずれも盛況に終わり、木育事業として認知されてつつあることを実感いたしました。

木工工作コンクールにおいては昨年と同じくらいの学校数と出品数を維持することができたわけですが、担当の先生が変わったりして段取りが思うように進まないときもあり苦勞する面もありました。すでにやっていることとはいえ、やはり毎年新たな気持ちで臨むようにすることが大事だと思いました。また田村副会長には県審査会及び表彰式の司会進行、そして県庁への展示などで何回も松本や長野へ足を運んでいただきました。協力らしい協力をあまりせずにご苦勞をおかけしましたが、この場を借りて感謝したいと思います。

今年は2年目という事で昨年よりはだいぶ状況が分かって活動に取り組むことができたと思います。来年度はもう1年、会团长を務めることになりました。木青連も3年目になるという事で今まで以上に頑張っていきたいと思います。1年間ありがとうございました。

東信木青連 PR事業 事業報告

- 【事業名】佐久バルーンフェスティバル2015[木工教室]
【日時】平成28年5月3日(火・祝)～4日(水・祝) 9:00～17:00
【場所】佐久市 千曲川スポーツ交流広場
【参加人数】330名
【内容】ミニ椅子作り(椅子キット)



- 【事業名】森の学校
【日時】平成28年10月16日(日)
【場所】上田市市民の森
【参加人数】105名
【内容】ミニ椅子作り(椅子キット)



- 【事業名】上小地区木工工作コンクール表彰式
【日時】平成28年11月26日(土)
【場所】上小木協会館
【参加人数】86名(保護者含む)
【内容】上小地区での児童生徒木工工作コンクール表彰式



平成28年度事業実施報告書



松本材青会 会団長

浅井 崇

52年振りとなる長野県での全国植樹祭を皮切りに、28年度の活動がスタートしました。

続いて北信越地区での全国会員福井大会も無事開催され、大会運営のお手伝い、全国児童・生徒木工工作コンクール作品展示準備に協力させていただきました。三日間に渡り他の長野県会団のメンバーと行動を共にすることにより、交流を深めることもできました。日本木青連に理事、委員会にて出向されていた県会団の方々は大変なご苦勞があったかと思ひます。本当にお疲れ様でした。

大きなイベントを終えて例年の木工工作教室を主体としたPR事業活動となるわけですが、本年度は県の事業、松本材青会の事業共に数多く、精力的に取り組めた年となったと思ひます。各事業を実行するための会員を確保するこ

との難しさはあったものの、どの事業においても準備した工作キットは予定数を完了し、好評のうちに終了できたことは何より嬉しく、また励みになりました。このように木工工作教室の人気があつても衰えをみせぬという事実は、木に携わる仕事をしている我々、そして長野県木材青壮年団体連合会にとっての活動と発展を応援してくれているしるしであり、呼びかけであると思ひます。基本となる木工工作教室形式の事業を大切に存続しながら、工作キットのバリエーションを増やし、販売、そして木のPRをする。木の空間を提供して体感してもらうなど新たな事業形態を模索・実践できれば、さらなる木青連の発展へとつながることと信じております。

最後になりますが、このように本年の活動が進められましたのは松本材青会員及び県会員の皆様のご協力があつたことと思ひます。皆様より心をいただいてこの一年を務めることができました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

松本材青会 PR事業 事業報告

【事業名】水と緑の空間整備事業(松本市) パレット製作・設置

【日時】平成28年7月27日(水) パレット引渡・設置
平成28年8月22日(月) 追加パレット製作引渡

【場所】松本市 松本城前空地・松本駅前広場

【参加人数】パレット設置ワークショップ時 50名
平成28年7月27日より設置継続中 多くの人々が集う。

【内容】県産材(杉)によるパレット製作

松本城前空地に設置

移動及び組み換え可能なパレット

①1200×1200×210 40台+20台(追加発注)

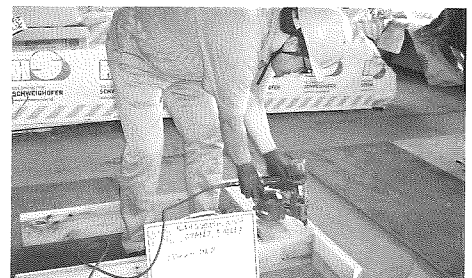
②1200×600×210 40台+10台(追加発注)

を製作し、①、②を組み合わせて仮設のベンチとテーブルを空地に置く。

ユニットなので、レイアウト変更、場所移動が可能。

松本市民及び観光客のひとときの憩いの空間を提供。

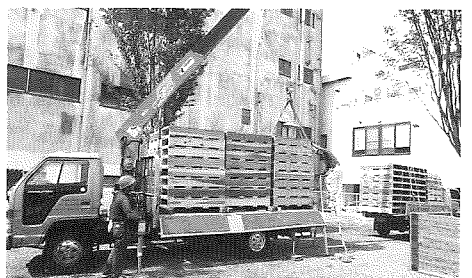
パレット設置はワークショップにておこない、県産材杉のアピール。



パレット製作



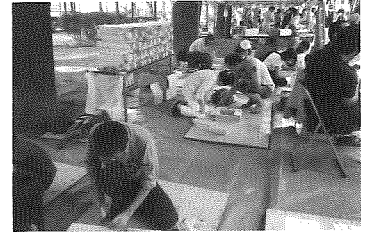
パレット製作



パレット設置

松本材青会 PR事業 事業報告

- 【事業名】松本農林業祭り
【日時】平成28年9月10日(土) 9:00~16:00
【場所】松本市 あがたの森公園
【参加人数】100名
【内容】ミニ椅子作り(椅子キット)



- 【事業名】ものづくりフェア2016長野
【日時】平成28年10月29日(土)~30日(日)
9:00~17:00 最終日16:00まで
【場所】松本市 職業訓練校体育館
【参加人数】400名
【内容】ミニ椅子作り(椅子キット)



- 【事業名】ものづくりフェスタ 波田
【日時】平成28年10月29日(土) 9:00~17:00
【場所】松本市 波田体育館前
【参加人数】100名
【内容】ミニ椅子作り(椅子キット)



- 【事業名】岳都松本山岳フォーラム2016
【日時】平成28年11月26日(土)~27日(日)
10:00~18:00 最終日17:00まで
【場所】松本市 まつもと市民芸術館
【参加人数】80名(2日間フォーラム来場者 2,700名)
【内容】ミニ椅子作り(椅子キット)



- 【事業名】木工教室出前講座(椅子キット提供)
【日時】平成28年 7月11日(月) 松本市筑摩小学校 16:00~
平成28年 9月15日(木) 松本市田川小学校 16:00~
平成28年11月24日(木) 松本市四賀小学校 16:00~
【場所】松本市筑摩小学校・松本市田川小学校・松本市四賀小学校
【参加人数】筑摩小70名・田川小53名・四賀小26名
【内容】ミニ椅子作り(椅子キット)

筑摩小学校



田川小学校

平成28年度 理事予定者会議 議事録

日時／4月2日(土)

場所／林業センター

【出席者】 ※予定者割愛

会 長	土倉 宜也
直前会長	田中 俊章
監 事	田中 雄介〈欠席〉
監 事	寺西 勝
◎代行副会長	田中 一興
◎副 会 長	山崎 泰雄
◎副 会 長	田村 紘一
◎北信木青連 会 団 長	澁澤 一吉〈欠席〉
◎北信木青連 副 会 団 長	山崎 泰雄(副会長と兼任)
◎東信木青連 会 団 長	土屋 善樹
◎東信木青連 副 会 団 長	齋藤 篤〈欠席〉
◎松本材青会 会 団 長	浅井 崇〈遅刻〉
◎松本材青会 副 会 団 長	佐原 弘一〈欠席〉
◎事 務 局 長	白石 直仁
事務局次長	宮崎 淳貴
事務局次長	赤羽 洋紀〈欠席〉
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 北信越地区長	印出 晃
日本木青連 出向 60周年記念事業委員副委員長	鳥田 直政〈欠席〉
日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長	中澤 勝成
日本木青連 出向 木育推進委員会委員	瀧沢 良夫〈欠席〉
オブザーバー	日野原和仁

出席者数14名(◎印は理事)

議長指名 会長より代行副会長を指名

議事録作成指名 白石事務局次長

定足数確認 理事10名中、出席7名 委任状7名 欠席0名 成立致します。

字句訂正 物故者の確認について、対象 会長及び歴代会長→現会員及び歴代会長に訂正

第1号議案 H27年度第4回定例理事会議事録(案)承認の件
田中議長より正副事務局会議にて審議し、本議案は今回、取り上げない事となりました。

第2号議案 H28事業計画(案)承認の件
土倉会長より上程
意見等 印出北信越地区長より
①事業日程(案)の第1回北信越協議会開催日についてですが、6月12日を大会準備委員会と同日と致します。
②事務局を松本材青会の赤羽氏と致します。
挙手にて採決 挙手多数 承認

第3号議案 平成28年度事業予算(案)承認の件
土倉会長より上程 収支予算・会費明細・会団PR会費拠出額の説明
挙手にて採決 挙手多数 承認

第4号議案 第57回県会員北信大会開催(案)承認の件
土倉会長より上程
詳細 5/7 ホテル国際21にて開催。受付15:00～登録料1万円
挙手にて採決 挙手多数 承認

第5号議案 平成28年度第1回理事会開催(案)承認の件
土倉会長より上程
詳細 5/21 林業センターにて開催予定。
土倉会長より「議案の多い会議となります。皆様のご参加をお願い致します。」
挙手にて採決 挙手多数 承認

議事録作成人 H28事務局次長 白石 直仁

平成28年度 臨時理事予定者会議 議事録

日時／5月7日(土)

場所／ホテル国際21

【出席者】 ※予定者割愛

◎会 長	土倉 宜也
直前会長	田中 俊章
監 事	田中 雄介
監 事	寺西 勝
◎代行副会長	田中 一興
◎副 会 長	山崎 泰雄
◎副 会 長	田村 紘一
◎北信木青連 会 団 長	澁澤 一吉
◎北信木青連 副 会 団 長	山崎 泰雄
◎東信木青連 会 団 長	土屋 善樹
◎東信木青連 副 会 団 長	齋藤 篤〈欠席〉
◎松本材青会 会 団 長	浅井 崇
◎松本材青会 副 会 団 長	佐原 弘一
◎事 務 局 長	白石 直仁
事務局次長	宮崎 淳貴
事務局次長	赤羽 洋紀
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 北信地区長	印出 晃
日本木青連 出向 60周年記念事業委員副委員長	鳥田 直政
日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長	中澤 勝成〈欠席〉
日本木青連 出向 木育推進委員会委員	瀧沢 良夫〈欠席〉
オブザーバー	日野原和仁

出席者数18名 ◎印は理事

議長指名 土倉会長より田中代行副会長を指名

議事録作成指名 白石事務局次長

定足数確認 理事10名中、出席9名 委任状1名 成立致します。

字句訂正 なし

第1号議案 H28事業予算(案)承認の件
土倉会長より上程 収支予算変更箇所の説明
詳細 前期繰越金に変更があります。1,000,000.→1,346,858.
予備費が943,000となります。
挙手にて採決 挙手多数 承認

議事録作成人 H28年度事務局次長 白石 直仁

平成28年度 第1回定例理事会 議事録

日時/5月21日(土)

場所/林業センター

【出席者】

◎会長 土倉 宜也
 ◎直前会長 田中 俊章
 ◎監事 田中 雄介(欠席)
 ◎監事 寺西 勝
 ◎代行副会長 田中 一興
 ◎副会長 山崎 泰雄
 ◎副会長 田村 紘一
 ◎北信木青連 会長 澁澤 一吉
 ◎北信木青連 副会長 山崎 泰雄
 ◎東信木青連 会長 土屋 善樹
 ◎東信木青連 副会長 齋藤 篤(欠席)
 ◎松本材青会 会長 浅井 崇
 ◎松本材青会 副会長 佐原 弘一
 ◎事務局 局長 白石 直仁
 ◎事務局 次長 宮崎 淳貴(欠席)
 ◎事務局 次長 赤羽 洋紀(欠席)
 ◎事務局 主事 松本 寿弘(欠席)
 ◎印 日本木青連 出向 北信地区長 印出 晃(欠席)
 ◎印 日本木青連 出向 60周年記念事業委員副委員長 島田 直政
 ◎印 日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長 中澤 勝成
 ◎印 オブザーバー 日野原和仁

出席者数14名 ◎印は理事

- 議長指名 会長より 第1・3・4・5号議案は田中代行副会長を指名
 第2号議案は田村副会長を指名
- 議事録作成指名 白石事務局長
- 定足数確認 理事10名中、出席9名 本日の議事は成立致します。
- 字句訂正 別紙参照
- 第1号議案 平成28年度理事予定者会議・平成27年度臨時理事会・平成28年度臨時理事予定者会議・定時総会議事録(案)承認の件
 土倉会長より上程
 会議中、意見等特になし
 挙手にて採決 賛成多数 承認
 ※議長を田中代行副会長から田村副会長に交代
- 第2号議案 平成27年度PRカレンダー幹旋事業(案)承認の件
 田中一興代行副会長より上程
 詳細 田中副会長→今配布の物は仮の見本帳で、正規の物が出来次第皆様に提示します。
 土倉会長(補足説明)→金額の合計よりも部数重視でより多く売って頂きたい。
 挙手にて採決 賛成多数 承認
 ※議長を田村副会長から田中代行副会長に交代
- 第3号議案 平成28年度第39回長野県児童生徒木工工作コンクール開催(案)承認の件
 田村副会長より上程
 詳細 田村副会長→出展目標として5千点を超えたいと思います。
 その為に、松本からの出展を増やして欲しいです。
 返答 浅井会長→松本の会員に伝え、出展を増やせる様に努力致します。
 挙手にて採決 賛成多数 承認
- 第4号議案 役員選考委員会設置(案)承認の件
 土倉会長より上程
 詳細 第2回定例理事会にて審議。第3回定例理事会にて次年度役員の選出。
 挙手にて採決 賛成多数 承認
- 第5号議案 第2回定例理事会開催日(案)承認の件
 土倉会長より上程
 詳細 土倉会長→7月23日(土)翌日が八ヶ岳で「山の日イベント」なので、理事開催場所は未定ながら、諏訪、松本方面で行いたいと思っています。
 挙手にて採決 賛成多数 承認
- 第6号議案 信州山の日イベント2016木工教室事業計画(案)承認の件
 山崎副会長より上程
 詳細 山崎副会長→林務部より100セットの注文を受けています。
 そのほか、ロケーション等は分かり次第報告します。
 要望 山崎副会長→当日テントを会員から出してもらえませんか？
 返答 土倉会長→林務部に掛けあってみます。
 挙手にて採決 賛成多数 承認
- 第7号議案 信州環境フェア2016木工教室[事業計画(案)承認の件
 山崎副会長より上程
 補足説明 土倉会長→木工教室開始前に我々木青連の活動をアピールしたいと思っています。
 意見 田中直前会長→ウッドストーリーの販売も視野に入れてみたらどうですか？
 澁澤会長→[木工工作コンクール]のチラシを活用したらどうでしょう？
 挙手にて採決 賛成多数 承認

議事録作成人 平成28年度事務局長 白石 直仁

平成28年度 第2回定例理事会 議事録

日時／7月23日(土)

場所／松本市 ハリカ松本店2階会議室

【出席者】

◎会 長	土倉 宣也
直前会長	田中 俊章
監 事	田中 雄介〈欠席〉
監 事	寺西 勝
◎代行副会長	田中 一興
◎副 会 長	山崎 泰雄
◎副 会 長	田村 紘一
◎北信木青連 会 団 長	澁澤 一吉
◎北信木青連 副 会 団 長	山崎 泰雄
◎東信木青連 会 団 長	土屋 善樹
◎東信木青連 副 会 団 長	齋藤 篤
◎松本材青会 会 団 長	浅井 崇
◎松本材青会 副 会 団 長	佐原 弘一〈欠席〉
◎事務局 長	白石 直仁
事務局次長	宮崎 淳貴〈欠席〉
事務局次長	赤羽 洋紀〈欠席〉
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 北信地区長	印出 晃
日本木青連 出向 60周年記念事業委員副委員長	島田 直政
日本木青連 出向 木育推進委員副委員長	中澤 勝成〈欠席〉
オブザーバー	日野原和仁

出席者数15名 ◎印は理事

議長指名 会長より田中代行副会長を指名

議事録作成指名 白石事務局長

定足数確認 理事10名中、出席9名 本日の議会は成立致します。

第1号議案 第1回定例理事会議事録(案)承認の件
土倉会長より上程
挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 平成28年度第39回長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会・表彰式開催(案)承認の件
田村副会長より上程
補足 日野原さん→表彰式会場について、松本のやまびこドームで11月5、6日に開催。当日表彰式は信州バザール内で行うので会場に多数の来場者が予定される為、会員は指定の駐車場に停めてほしい。
意見 寺西監事→前回の審査会の反省点を踏まえ、1次審査で20点程にしばらく、受賞作品以外の10点を優秀賞とした方がスムーズに審査会が進むと思う。
挙手にて採決 挙手多数 承認

第3号議案 信州バザール2016木工教室事業計画(案)承認の件
山崎副会長より上程
補足 日野原さん→現地には8時30分集合、9時搬入。
日野原さん→会場内スペースについて目下検討中。
質問 山崎副会長→日野原さんへ、イベント中木工教室で音を出していても問題ないか。
返答 日野原さん→問題なし。
挙手にて採決 挙手多数 承認

第4号議案 関係諸団体と親睦事業計画(案)承認の件
土倉会長より上程
詳細 長野県内の木協・諸団体との交流を目的とした親睦会を計画している。年度内に開催するために今回の理事会で予算計上、上程した。
挙手にて採決 挙手多数 承認

第5号議案 第3回定例理事会開催日(案)承認の件
土倉会長より上程
挙手にて採決 挙手多数 承認

以上

議事録作成人 H28年度事務局長 白石 直仁

平成28年度 第3回定例理事会 議事録

日時／12月3日(土)

場所／長野市 林業センター

【出席者】

◎会長	土倉 宜也
直前会長	田中 俊章〈欠席〉
監事	田中 雄介〈欠席〉
監事	寺西 勝
◎代行副会長	田中 一興〈欠席〉
◎副会長	山崎 泰雄
◎副会長	田村 紘一
◎北信木青連 会团长	澁澤 一吉
◎北信木青連 副会团长	山崎 泰雄
◎東信木青連 会团长	土屋 善樹
◎東信木青連 副会团长	齋藤 篤 〈欠席〉
◎松本材青会 会团长	浅井 崇
◎松本材青会 副会团长	佐原 弘一
◎事務局長	白石 直仁
事務局次長	宮崎 淳貴
事務局次長	赤羽 洋紀
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 北信地区長	印出 晃
日本木青連 出向 60周年記念事業委員副委員長	島田 直政
日本木青連 出向 木育推進委員副委員長	中澤 勝成〈欠席〉
オブザーバー	日野原和仁

出席者数15名 ◎印は理事

議長指名 会長より田村代行副会長を指名

議事録作成指名 白石事務局長

定足数確認 理事11名中、出席8名 本日の議会は成立致します。

第1号議案 第3回定例理事会議事録(案)承認の件
土倉会長より上程
挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 信州山の日2016[木工教室]事業報告、収支決算(案)承認の件
山崎副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第3号議案 信州環境フェア2016[木工教室]事業報告、収支決算(案)承認の件
山崎副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第4号議案 平成28年度PRカレンダー事業収支決算(案)承認の件
田村副会長→第4号議案は取り消しと致します。

日野原さん→経過報告
資料の予算(案)は現状の集計です。(少し増えます)
この議案については第4回理事会にて改めて報告致します。
田村副会長→PRカレンダー事業収支決算(案)承認の件につきましては次回に持ち越しとさせていただきます。

第5号議案 第57回県会員北信大会収支決算(案)承認の件
山崎副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第6号議案 平成28年度第4回定例理事会開催(案)承認の件
土倉会長より上程

土倉会長→同日に石川県で記念大会があるのでもし日程に不都合があればお知らせください。
挙手にて採決 挙手多数 承認

以上

議事録作成人 平成28年度事務局長 白石 直仁

平成28年度 第4回定例理事会 議事録

日時／2月18日(土)

場所／長野市 林業センター

【出席者】

◎会長	土倉 宣也
直前会長	田中 俊章
監事	田中 雄介
監事	寺西 勝
◎代行副会長	田中 一興
◎副会長	山崎 泰雄
◎副会長	田村 紘一
◎北信木青連 会団長	澁澤 一吉 (欠席)
◎北信木青連 副会団長	山崎 泰雄
◎東信木青連 会団長	土屋 善樹
◎東信木青連 副会団長	齋藤 篤 (欠席)
◎松本材青会 会団長	浅井 崇 (欠席)
◎松本材青会 副会団長	佐原 弘一
◎事務局 局長	白石 直仁
事務局次長	宮崎 淳貴
事務局次長	赤羽 洋紀 (欠席)
事務局主事	松本 寿弘 (欠席)
日本木青連 出向 北信地区長	印出 晃 (欠席)
日本木青連 出向 60周年記念事業委員副委員長	島田 直政 (欠席)
日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長	中澤 勝成
オブザーバー	日野原和仁 (欠席)

出席者数12名 ◎印は理事

- 議長指名 会長より田中代行副会長を指名
- 議事録作成指名 白石事務局長
- 定足数確認 理事10名中、出席8名 本日の議会は成立致します。
- 第1号議案 第3回定例理事会議事録(案)承認の件
土倉会長より上程
挙手にて採決 挙手多数 承認
- 第2号議案 平成28年PRカレンダー幹旋事業報告(案)承認の件
議長交代、田村副会長へ
田中代行副会長より上程
田中副会長より
日本木青連カレンダーについて
収入計算書の摘要にある「日本木青連直接取引」とは日本木青連より齊藤木材にカレンダー代金の直接請求が行ってしまい、カレンダー収入が入らなかった為で計算額も0円となっています。
田中監事より
PRカレンダー幹旋事業を行う意味が無くなってしまいますので、そういった事は今後無い様にしてください。
土倉会長より
会員の齋藤さんには「カレンダーの請求は長野木青連からだから」と伝えるのが遅くなってしまった。次年度は気をつけてもらいたいです。
挙手にて採決 挙手多数 承認
- 第3号議案 平成28年度長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告(案)承認の件
議長交代、田中代行副会長へ
田村副会長より上程
田村副会長より
今回、作品運搬用として、自分で箱を作り手間が掛かった。また、寺西さんや浅井さんに何度も手を借りることになってしまい迷惑をかけた。今後、経費減の為に何か良い方法が無いでしょうか？
白石事務局長
作品運搬費減の為に長野県用に作品運搬用コンテナを作ってみたらどうか？
中澤木育副委員長
作品サイズはバラバラなのであまり大きな箱を用意しても合わないし、費用も無駄に掛かる。作品の製作者にお願いするしかないのでは？
挙手にて採決 挙手多数 承認
- 第4号議案 信州バザール2016[木工教室] (案)承認の件
山崎副会長より上程
中澤木育副会長より
収入決算額にある¥162,000とはどういったものですか？
土倉会長より
イスのキット単価が¥1,500で110セット出たのでこの金額となりました。
挙手にて採決 挙手多数 承認
- 第5号議案 関係諸団体との親睦事業報告(案)承認の件
土倉会長より上程
挙手にて採決 挙手多数 承認
- 第6号議案 平成29年度長野県木青連役員・出向者(案)承認の件
土倉会長より上程
人事案件の為、拍手にて採決 拍手多数 承認
- 第7号議案 平成29年理事予定者会議開催(案)承認の件
議長交代、田村副会長へ
田中代行副会長より上程
田中代行副会長より
日程について、日本木青連の会議次第で変更することをご承認ください。
挙手にて採決 挙手多数 承認

以上

議事録作成人 H28年度事務局長 白石 直仁



日本木材青壮年団体連合会 環境憲章

【理 念】

日本木材青壮年団体連合会(日本木青連)は、類まれなる環境性能を有する木質資材を扱う“木財人”として、長期的な視野に立って、更なる地球規模での環境保全に取り組み、循環型経済社会の形成を通じて、人類と森林と地球が調和する豊かな未来に貢献します。

～私たちは、木材が人類共有の財産であることから、その持続的な利活用を目指す会員を“木財人”と称しています～

【基本方針】

1.《木材利用の地球環境貢献》

木材利用の促進を通じて、地球環境に貢献する事業を推進します。

- ①木材製品の炭素貯蔵による地球環境貢献効果を正しく理解し、高炭素ストック社会の形成を目指して、木材利用の促進に努めます。
- ②木材加工の省エネルギー性能を正しく理解し、低炭素排出社会の形成を目指して、更に環境負荷の小さい木材製品と、その生産、流通技術の開発に努めます。
- ③地球上の健全な炭素循環における森林の役割を理解し、木材の持続可能な利用によってその機能が最大限に発揮される観点から、森林による炭素吸収源の拡大に貢献します。

2.《事業活動》

事業活動全般において、環境法令の遵守と一層の環境負荷の低減に努めるとともに、日本木青連会員全体の環境管理レベルの向上を図ります。

- ①有毒物質の適正管理、3Rの推進(リデュース、リユース、リサイクル)による省資源を推進します。
- ②会員への環境教育を推進し、環境保全意識の高揚を図ります。
- ③ビジネスパートナーと協働して、木育活動などの環境保全活動を推進します。
- ④合法木材の利用を推進します。

3.《社会活動》

森林資源の有効な循環利用を通じて地球環境保全を推進します。

- ①木材の利用促進を通じて、循環型経済社会の形成に努めるとともに、持続可能な企業価値向上と会員の社会貢献への意識を高めます。
- ②行政機関、地域、関係団体と連携して、環境保全活動に積極的に参加、支援します。
- ③社会と協調して豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組みます。

4.《情報発信》

正確な環境情報を開示するとともに、フィードバック情報を環境活動の改善に活かします。

- ①環境情報を積極的に公開し、社会との環境コミュニケーションを推進します。
- ②木材製品における温室効果ガス排出量等の「見える化」に努めます。
- ③環境行動計画を公表し、計画的かつ継続的な環境活動を推進します。

制定 2010年 6月19日

日本木材青壮年団体連合会
平成21年度会長

久我 洋一

